

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン溝の口		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の数に比べスタッフの人数が手厚い グルーピングの重要化	お子様同士、関わりやすいよう少人数制でレッスンを行っている。危険性なども考慮したスタッフ人数の配置。 お子様の課題や支援内容に合わせてグルーピングさせて頂いている為、活動内容が豊富である。	お友達との直接的コミュニケーション、SSTなどが今以上に身につけられるよう活動内容の強化や豊富な活動メニュー増加に努める。
2	体験、SNSなどを通じてレッスン内容を公開	体験に来ていただいた方にはレッスンを直接体験していただき、SNSなどでも内容や教室雰囲気公開し、ご入会を検討されている方もわかりやすく行っている。	弊社SNSへの認知度を上げるとともに、内容や見やすさを追求していく。
3	他事業所やクリニック等、外部との交流	地域内他事業所意見交換会に参加したり他事業所へ定期的にご連絡を取り合い、お子さまの様子を把握出来るようにしている。運動療育以外の支援が必要であれば連携出来るようにしている。 クリニックさんへの連携が取れている為、受給者証手続きへのスムーズさや医療サポートの環境が整っている。	引き続き、定期的に他事業所と連絡を図り、お子様の状況をしながら当スタッフがより良い支援ができるようにする。 連携クリニックや専門機関を広げ、様々な視点からの助言、支援が出来るようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療機関系の専門スタッフが少ない。	経験なども踏まえて、専門性が一律ではないと感じることがある。	専門機関との連携できる場を引き続き広げる。 事業所内のミーティングの内容を十分な時間をかけて行い、複数スタッフで支援内容の見直し追及を取り組み続ける。
2			
3			